



平成 28 年 10 月 26 日

TSUBASA金融システム高度化アライアンス加盟行による 人工知能技術活用に向けたプロジェクトの開始について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」^{※1} 加盟行及び共同出資会社のT&Iイノベーションセンター株式会社（取締役会長 森本 昌雄、以下「T&I」）と共同で、平成28年10月26日（水）より、人工知能技術活用に向けたプロジェクトを開始いたしましたので、お知らせします。

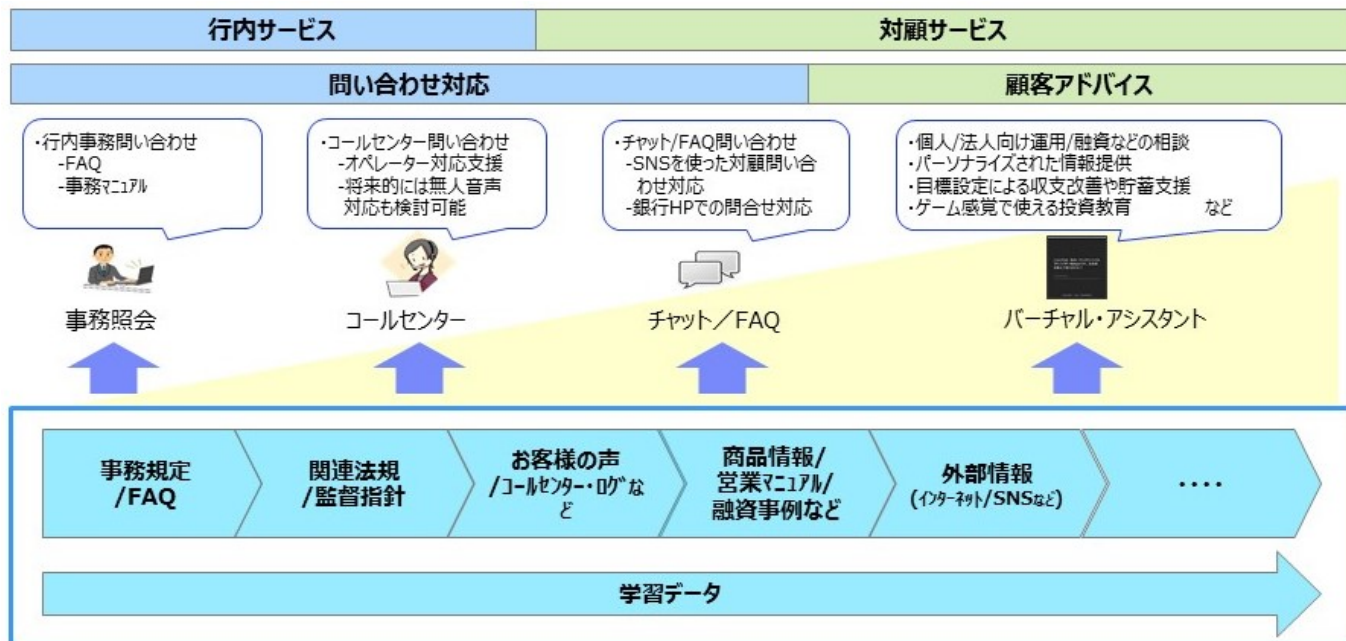
今回のプロジェクトでは、日本アイ・ビー・エム株式会社の協力のもと、T&Iが様々なパターンで人工知能に学習トレーニングを行い、評価結果の蓄積・分析によるノウハウ取得を目指します。また、将来の銀行業務における適用範囲や地方銀行での人工知能をはじめとしたコグニティブ技術^{※2}を活用したビジネスモデルの検討・推進を行ってまいります。

当行は、T&Iを有効に活用し、より利便性の高い商品・サービスの提供を実現し、地域のお客さまに選ばれる銀行を目指してまいります。

- ※1 フィンテックをはじめ先進的なIT技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の6行が加盟しています。
- ※2 IBM Watson に代表される、膨大なデータを活用し学習する技術で、意思決定や問題解決を支援します。

以 上

<銀行業務における人工知能（自然言語処理）活用適用範囲イメージ>



<人工知能技術を活用した業務展開のイメージ>

